

令和6年度 主要事業評価シート

| | | | | | | | | |
|----------|---------------------|--|-------------------|-------------|------|------|-----------|--|
| ① 基本事項 | 計画コード | 22012 | 事業名 | 水道施設耐震化整備事業 | | 評価分類 | A1 | |
| | 事業手法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| | 施策体系 | 施策の大綱 | 01:快適さを支える生活基盤の向上 | | 予算科目 | 会計 | 11:水道事業会計 | |
| | | 基本施策 | 03:上下水道の充実 | | | 款 | 資1:資本的支出 | |
| | | 施策の方向 | 01:安全でおいしい水の安定供給 | | | 項 | 01:建設改良費 | |
| 重点プロジェクト | 03:「しなやか田園都市」プロジェクト | | 目 | 01:施設費 | | | | |
| 事業期間 | R 1 年度 ~ R 9 年度 | | 主な根拠法令等 | 水道法 | | | | |

| | |
|------|----------------|
| 担当部署 | |
| 部 | 上下水道部 |
| 課 | 上水道課 上水道工務G |

| | | | | |
|------------|---|-----------------|--|--|
| ② 事業概要 (P) | 事業の必要性(経緯・背景等) | 事業の対象(誰に、何に対して) | 事業の目的(どのような状態にしたいのか) | 事業の内容(どのような取組を行うのか) |
| | 地震災害等により断水となると市民生活等に与える影響が大きいことから、平常時はもとより、震災等の非常時においても一定の給水を確保する必要があるため、新水道ビジョンに基づき水道施設(管路・浄水場・配水池等)の耐震化を図り、被害の発生を抑制し、影響を極力小さくする必要がある。 | 市民 | 水道施設の耐震化を進め、地震災害等の被害の低減を図ることにより、非常時においても一定の給水を確保する。また、二次災害を未然に防止するとともに、緊急遮断弁を設置し非常用飲料水を確保する。 | 基幹管路である水源地から配水池を経由し、地区の主要部までの経路や、指定避難所や災害対策本部等の重要施設までの経路の水道施設の耐震化を行う。なお、水道施設簡易耐震診断の検証結果や被災時に与える給水の影響範囲等を考慮し、耐震化を進める。また、地震災害等における二次災害を未然に防止するとともに、断水時においても応急給水が対応できるよう主要配水池に緊急遮断弁を設置する。 |

| 年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和7年度 | |
|----------------------|--------|--|-----------|---|----------|---|-----------|----------------------|-----------|
| 事業計画 | | ○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系 ○緊急遮断弁整備 ・関第2水源系 | | ○緊急遮断弁整備 ・第1水源系 | | ○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系 | | ○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系 | |
| 活動実績 (計画通り実施できたか) | | 第1水源系は、延長75.8mの基幹管路耐震化工事を行った。また、詳細設計業務委託では、鉄道横断箇所になることから、関係機関である西日本旅客鉄道(株)と計画協議を行っていたが、協議に時間を要したため、委託業務の発注が遅れたことにより、年度内に完了することができなかった。関第2水源系においては、緊急遮断弁を1基設置し、危機管理体制の拡充を図った。 | | 令和4年度から繰越した委託業務を完了させた。また、令和5年度工事は、半導体不足の影響や追加工事の材料手配等に日数を要したことから、年度内の工事完成ができず、繰越した。 【令和6年3月末時点の進捗率】 緊急遮断弁設置工事 50% 緊急遮断弁至配水管布設工事 85% | | 令和5年度から繰越した緊急遮断弁設置工事を完了させた。また、鉄道事業者との協定締結に日数を要したため、関連工事の発注に遅れが生じたことから、年度内の工事完成ができず、繰越した。 【令和7年3月末時点の進捗率】 緊急遮断設置工事 100% 送水管・立坑工事 3% 送配水管布設(立坑)工事 0% JR軌道下推進工事業務委託 1% | | | |
| ③ 事業の実施状況 (P・D) | 計画額 | 事業費 | 130,000千円 | 104,000千円 | 65,000千円 | 37,000千円 | 104,400千円 | 91,990千円 | 152,600千円 |
| | | 国・県支出金 | | 0千円 | | | | | |
| | | 地方債 | | 0千円 | | | | | |
| | | その他 | | 0千円 | | | 8,000千円 | | 12,000千円 |
| | 一般財源 | 130,000千円 | 104,000千円 | 65,000千円 | 37,000千円 | 96,400千円 | 91,990千円 | 140,600千円 | |
| 決算額 | 事業費 | | 73,877千円 | | 36,388千円 | | 91,582千円 | | |
| | 国・県支出金 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | |
| | 地方債 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | |
| | その他 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | |
| | 一般財源 | | 73,877千円 | | 36,388千円 | | 91,582千円 | | |
| ①期間内計画額(R4-7) | | 452,000千円 | | ②期間外計画額(R8-) | | 186,000千円 | | ①+②総計画額 638,000千円 | |

(令和6年度予算額の内訳)

| | |
|-----------|-----------|
| 前年度からの繰越額 | 60,400千円 |
| 当年度の最終予算額 | 111,000千円 |
| 次年度への繰越額 | 79,409千円 |

| 指標名 | 説明等 | 種別 | 単位 | 区分 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------------|------------------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|
| ④ 指標 (C) | 基幹管路の耐震化率 | 成果 | % | 計画値 | 20 | 20 | 20 | 21 |
| | | | | 実績値 | 20 | 20 | 20 | |
| 主要配水池への緊急遮断弁の設置施設数 | 主要配水池への緊急遮断弁の設置数 | 成果 | 施設 | 計画値 | 1 | 1 | | |
| | | | | 実績値 | 1 | 0 | 1 | |
| | | | | 計画値 | | | | |
| | | | | 実績値 | | | | |

| 判定 | 事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか) |
|----------------------|--|
| ⑤ 成果 (C) B | 令和5年度から繰越した緊急遮断弁設置工事が完了し、施設の防災機能が向上したことで、地震災害時の非常用飲料水の確保が可能となった。また、西日本旅客鉄道(株)との協定締結に日数を要し、関連する送水管布設工事の発注に遅れが生じたが、工事発注後は順調に進捗しており、令和6年度から令和7年度の債務負担工事も含め、当初計画通り令和7年度末の完了を目指し事業を進めている。 |
| まずまず成果を得た | |

| 事業の対象 | 事業の目的 |
|-------|--|
| 市民 | 水道施設の耐震化を進め、地震災害等の被害の低減を図ることにより、非常時においても一定の給水を確保する。また、二次災害を未然に防止するとともに、緊急遮断弁を設置し非常用飲料水を確保する。 |

(再掲)

| 事業の達成状況等を踏まえた課題事項 |
|---|
| ⑥ 課題 (C) |
| 軌道下推進工事は、複数の工事を順次実施する必要があり、令和7年度末の完了を目指すためには、各工事の工程が錯綜しないよう、円滑な調整と安全管理が必要不可欠であることから、関係者間での綿密な連携を図り、事業の進捗を確実に進めていく必要がある。 |

| 方向性 | |
|---|---|
| ⑦ 事業の展開 (A) | |
| 継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する | |
| 改善・見直し内容 | |
| 令和7年度で対応する(した)もの | 令和8年度以降で対応するもの |
| 西日本旅客鉄道(株)の委託工事と亀山市の発注工事に関して、工程管理の強化や交通障害の最小化、関係者との連携強化に努め、円滑な工事進捗を図っていく。 | 軌道下に布設されている基幹管路の耐震化を実現するためには、令和8年度に発注予定の配管工事が必要である。そのため、関係機関と密接に連携し、令和8年度内の工事完了を目指し、円滑に事業を進める必要がある。また、令和7年4月に策定した耐震化計画に基づき事業の進捗状況を適切に把握し、取り組んでいく。 |

| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|----------|----------|----------|-------|
| ⑧ 履歴 | | | | |
| 成果判定 | B | B | B | |
| 事業展開 | 継続(現状維持) | 継続(現状維持) | 継続(現状維持) | |

| | |
|-------|--------------------------|
| 1次評価者 | 上下水道部 上水道課 上水道工務GL 直江 宏紀 |
| 最終評価者 | 上下水道部 上水道課長 高沢 直 |